

ふ、く、ん、ど、り、い、

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.40

2025年10月発行

親善友好都市ペンリス市訪問団派遣 35年を迎え長年の友好を確認



▲ペンリス市のトッド・カーニー市長を囲み、藤枝市訪問団、白山市訪問団全員で記念撮影。

8月10日から14日にかけて、清水茂白山市教育長を団長に、中野進市議会議員、並びに、福田裕白山市国際交流協会会長を副団長とした、訪問団9名がペンリス市を訪問しました。

ペンリス市とは、平成元年（1989年）11月10日に親善友好都市提携を行い、昨年提携35周年を迎えました。この度、長年の友好関係を更に深めたいとのペンリス市長からの招待を受け、公式訪問団を結成し、両市の市政について意見交換を行うとともに、更なる協力関係を確認することを目的として訪問しました。

ペンリス市滞在中は、静岡県藤枝市の多田市議会議員、桜井藤枝市国際友好協会会長等7名の訪問団の皆さんと一緒に公式行事に参加し、3市のより一層の友好を誓いました。

C・O・N・T・E・N・T・S

■ 特集 親善友好都市ペンリス市訪問団派遣	1～2
■ 青少年ホームステイ相互交流	3
■ 国際交流サロンのページ	4～6
■ HIA だより	7
■ HIA からのお知らせ	8



▲ペンリス国際友好委員会のケリー・ゲイン副会長（写真左）へ、長年の交流へのご尽力に感謝の気持ちとして浅野太鼓の記念品を贈呈する福田副団長

歓迎式典



▲ペンリス市役所(写真左)内の議場において、歓迎セレモニーが開かれ、清水団長が3市の未永い友好関係の継続を祈念してあいさつを行いました。



ペンリス市長との意見交換



▲カーニー市長やペンリス市幹部との意見交換で、白山市の施策について紹介。白山市からも、成長を続けるペンリス市に対して、若者・高齢者世代に対する施策、多様なルーツをもつ人々との共生などについて考えを聞くなど、意見交換を行いました。



ペンリス市内視察

シティパーク City Park



▲2023年12月に完成したシティパークを視察する訪問団。園内には、市民に姉妹都市や親善友好都市を広く周知するため、提携している4都市のデザインプレートが設置されています。白山市のプレートには市の花である「あさがお」がデザインされていました。



西シドニー国際空港建設地 Western Sydney Airport



▲現在建設中の西シドニー国際空港を視察。敷地面積は小松空港の4.4倍で、2026年末の開港に向けて準備が進められていました。

歓迎夕食会

夕食会は、藤枝市・白山市訪問団のほか、ペンリス市議会議員やペンリス国際友好委員会役員、山中在シドニー日本国総領事等が参加し行われました。



▲あいさつをするカーニー市長



▲カーニー市長へ白山市からの記念品である美川刺繍を送る中野副団長。中野副団長はペンリス市の心温まる歓迎に対する感謝の気持ちを、英語でスピーチされました。



▲先住民の方へ敬意と感謝の意を表し、会場では伝統楽器ディジェリドゥーの演奏(写真上)や先住民の踊り(下)が披露されました。



▲長年、ペンリス市と本市の交流にご貢献いただいているペンリス国際友好委員会の皆さんとの記念撮影。

ペンリス・セレクトィブ・ハイスクール訪問

1993年から本市高校生とのホームステイ交流事業を行っているペンリス・セレクトィブ・ハイスクールを訪問し、ジャックリン・クッシュ校長へ長年の交流に対する感謝を伝えました。



▲学校関係者や日本語クラスの生徒に向けて、清水団長が本市の教育について紹介しました。



▲“石川サンバ”を披露する日本語クラスの生徒。今夏訪問した白山市高校生が現地で発表したものを、覚えてくれました。



▲オーストラリアの学校について紹介するペンリス市生徒



▲昨年ホームステイ交流で白山市を訪問した生徒たち。ニコルさんと約1年ぶりの再会！

今夏の青少年ホームステイ相互交流事業は、姉妹都市・英国ボストン町へ中学生9名、引率者3名の計12名からなる訪問団を、親善友好都市・豪州ペンリス市へ高校生12名、引率者2名からなる計14名の訪問団を派遣しました。中高生たちは、それぞれホームステイを行いながら、現地の学校や文化交流を体験し、忘れられない夏の思い出を作りました。

ボストン町中学生ホームステイ相互交流派遣

派遣期間：7月15日（火）～28日（月）13泊14日



現地の中学校を訪問し、ボストン町生徒とともに授業体験を行いました！



▲町長表敬での記念写真。伝統あるボストン町庁舎を訪問し、ボストン町の歴史などについて学びました。



▲「試験管の中に虹をつくろう」という理科の授業を体験。



▲美術の授業の様子。ペアの生徒と一緒にレイアウトを考え、素敵な作品ができました。



▲体育の授業では、「Puddocks」というスポーツで盛り上がりしました！



▲近隣の都市リンカン市にある大聖堂を見学。西洋の建築の美しさに生徒たちは見入っていました。



▲町を流れるウィザム川でカヤック体験。



▲最終日のさよならパーティーでは、白山市や日本に関するクイズを英語で出題！ボストン町の皆さんに地域の魅力を伝えることができました。



▲長年、両市町の交流にご貢献いただいている、担当者のクリアさん（写真左）とスティーブさん（写真中央）に、「白山市国際友好表彰」を贈呈しました。

ペンリス市高校生ホームステイ相互交流派遣

派遣期間：7月23日（水）～8月3日（日）11泊12日



▲滞在中はホスト校のペンリス・セレクトティブ・ハイスクールでペンリス市生徒と一緒に授業を受けました。日本語クラスにも参加し、白山市や日本の魅力を英語で発信したり、日本語と英語を使いながら、たくさん交流して仲を深めることができました。



▲休み時間には、音楽に合わせながら、カップを動かす「カップソング」に挑戦しました。みんなで一体となって、カップをつなぎました。



▲アートクラスやブーメラン製作、クッキング体験など、様々な授業に参加させていただきました。



▲インドにルーツを持つ生徒たちが、インド発祥の「Henna Tattoo」を施してくれました。白山市生徒は繊細な技術に驚きを隠せませんでした！



▲シドニー視察では、あいにくの天気でしたが、雄大な海を見ることができました。オーストラリアの歴史にも触れ、この12日間で遠く離れた地域の文化・習慣をたくさん学ぶことができました。

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
 休館日 月曜日（月曜日が祝日も休館）、祝日
 場 所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館ピーノ2階）
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP https://hia-salon.jp/
 国際交流サロンのSNSでつながりましょう。
 LINE 公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



最近の日本語クラス

多国籍化しているサロンの日本語クラス、現在16ヶ国の外国人が勉強しています。

今年2月、バングラディッシュ出身のご夫妻が登録に来ました。奥様のMさんは全く日本語が話せません。担当したのはサポーター歴の長いKさん。英語を交えてのゼロからのスタートが始まりました。友達もいないMさんはサロンでの勉強の時間をとても楽しみにし、日に日に日本語が上達し、半年で簡単な会話ができるまでになりました。母国のバングラディッシュについて、これからたくさん教えてもらいたいと思っていた矢先、埼玉県へ引っ越しが決まりました。「白山市の毎日は私の特別な日」、「先生は私の一番好きな人」と、メッセージを残してくれました。2月から7月末までの短い期間でしたが、サロンでは、Mさんとの素敵な出会いがありました。またいつか会えると嬉しいな！そんなお別れでした。「お元気で！」



▲最後の日本語クラスを終えたMさん（左）と日本語サポーターKさん



▲夏休み外国人児童生徒向け学習サポートを開催（7月31日、8月1日）



▲わいわいカフェでは、浴衣着付けと盆踊りを練習（7月25日）

くれよんカフェ「子育て家族の防災」を開催しました（6月22日）

講師：防災士・NPO法人おやこの広場あさがお施設長 川上 由枝氏
 防災士・金城大学看護学部講師 田村 博美氏

日本で起こる災害（地震、洪水、台風、土砂崩れなど）は外国人には経験がないものもあります。まずは動画を見て、日本での災害はどういうものなのかを確認しました。その後、自分の住む地域の避難所の場所と防災バックの中身を確認しました。避難所では、皆で協力し合い、ルールを守ることが大切です。それは外国人も同じです。言葉や文化の壁で困ることが多いです。普段からご近所の方と挨拶を通して、顔見知りになり、緊急時に助け合えるよう信頼関係を作っておくことが大切だと学びました。

防災バックは季節によって必要なものも異なるので、季節ごとに見直す必要があります。子育て世代ならば、離乳食やおむつ、お気に入りのおもちゃがあれば子供の気持ちも落ち着きます。また、個人の基本情報（名前、住所、連絡先など）が書いてあるものを防災バックに入れておくと、日本語が話せない外国人も安心です。自然災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に落ち着いて行動する上でも、防災の備えは必要だと実感しました。



▲外国人・日本人の多くの家族連れが参加。



◀講師のお二人からお話を聞くフィリピン出身のコミュニティリーダー（左から二人目）

“外国人の声” コーナー



マイ・スアン・レーさん

2017年の夏に来日し、白山市内の工場で車両部品の溶接工として勤務。今夏帰国。33歳。

白山市での8年間ありがとう！

私はベトナムの中部フエ出身で2017年に石川地区の工場に技能実習生で来日しました。その後、特定技能に変わり、計8年間、溶接工として働きました。2025年8月、勤務を終え、私は帰国します。

2018年から石川公民館（現コミュニティセンター）で開催された「日本語カフェいしかわ」に毎回通いました。職場では日本語を話す機会がないため、自分の日本語を高めたかったです。来日時は日本語4級レベルでしたが、独学で勉強し、日本語検定2級を取得しました。日本語能力が上がるにつれ、日本語カフェに行くのが楽しみになりました。また、地域に友達もできました。その友達とは、職場からアパートに帰る途中の畑で出会ううさん（75歳）です。「柿いらんか？」と声をかけられたのがきっかけです。以来、仕事帰りの1時間ほどうさんの畑で草むしりや野菜植えを手伝いました。一緒にスイカを育てたことが思い出です。帰国したら、日本語を生かした仕事に就きたいと思っています。白山市で出会った皆さんはとても優しくかったです。有難うございました。

サポーターインタビュー（協会で活動するサポーターさんを紹介するコーナーです）

藤井喜和子さん
（日本語サポーター）



Q 国際交流のボランティアをするきっかけは？

私の高校生の頃はビートルズ全盛期で歌詞の意味を知りたくて英語に関心を持ち、言葉だけでなく、異国の文化や社会についても好奇心がありました。そんな時に、「国際交流サロン」の大きな看板を見つけて、訪れたのがきっかけです。約20年前、勇気を出して、最初の一步を踏み出せて良かったと今、思います。サロンは私にとってとても大切な場所です。

Q 現在のサポーター活動は？

日系ブラジル人女性の日本語クラスを担当しています。仕事で使う日本語を上達したいとの目標があり、彼女の頑張りに応えようとやりがいがあります。あと、もう一つ長い間、続けている活動として、月に1回、松任図書館で開催する外国人ママによる外国語絵本読み聞かせ（ハローリトルワールド）のお手伝いをしています。中国やフィリピンのママたちが安心して読み聞かせができるよう傍についている「見守り隊」のような役目です。最近、自分でもわかったのですが、この活動を続けられている理由の一つが、集まってくる赤ちゃんたちの表情がとてもかわいい、また、会いたいと思うからです。この赤ちゃんたちが将来、本が好きなき子に育ってほしいなあと願っています。

Q 20年間、活動を続けられている健康の秘訣は？

当り前のことですが、三食をしっかり食えることです。しかも、栄養のバランスを考えながら、何でも「好き嫌い」はよくありません。苦手だった納豆も好きになりました。食事は、健康の基本です。これからも、無理をしないで、国際交流サロンの活動を続けていきたいです。

トピックス

国際交流サロン内に「サロン de 展覧会」コーナーができました

サロン利用者や協会の趣味等のアート作品、クラフト作品等を展示するコーナーを新設しました。利用者さんの意外な一面を垣間見ることができると、来館者に好評です。原則、月変わりの展示です。いつでもお気軽にご来館ください。また、出展作品も募集中です。サロンであなたの趣味の作品を展示してみませんか。



写真左から 展示出品者／内容

- ・志治マリエさんのお孫さん／折り紙クラフト
- ・田口功一さん／書、陶芸ほか
- ・羊 永明さん／白山市の風景と能登のまつり写真
- ・奥村チュックさん／手作りカバンとアオザイ

一口メモ：【白山市の外国人人口】（2025年7月末現在）
42ヶ国2,104人（前年同月比 175人増）
市の総人口比 1.87%

○写真で見る主な部会事業(上半期)



【日本語部会】6月27日

交流型日本語クラス「わいわいカフェ」では、日本年金機構金沢南年金事務所の職員をお迎えし、外国人向けに「日本の年金制度」についてお話してもらいました。



【共生交流部会】5月25日

あいにくの雨でしたが、吉野オートキャンプ場で8か国50人が集まり、雨天を吹き飛ばす盛り上がりでした。



【国際理解部会】

(写真左上) 5月11日 白山市・野々市市・津幡町のアメリカ出身の国際交流員たちによる「いろいろなアメリカ紹介」

(写真右上) 6月8日 多文化カフェ「イタリア編」
イタリアの食文化について紹介

(写真左) 6月29日 インドネシア料理教室



【通訳翻訳部会】6月～8月 ALTによる英語カフェ

延べ12人のALTとのフリートークに小学生から大人まで総勢85人の市民が参加し、生の英語での会話を楽しみました。写真は夏休み開催で小学生が参加。



【共生交流部会】6月15日

第21回白山市民スポーツ大会バドミントン競技に外国人ペア2組が初参加。残念ながら初戦敗退しましたが、日本人選手の皆さんと対戦ができて良い刺激になったようです。

姉妹都市・米国コロンビア市から学生訪問団が来市

姉妹都市の米国コロンビア市から、2グループの訪問団が来市し、市内の学校等で交流を行いました。

○高校生訪問団来市

受入期間：6月7日（土）～6月19日（木）

コロンビア市高校生5名と引率者2名が来市し、国際高等専門学校白山麓キャンパス（ICT）の寮に滞在しながら、ICTの授業体験やジオパーク研修等の市内視察を通して、白山市への理解を深めました。



▲ジオパーク研修で白山恐竜パーク白峰を訪問。化石の発掘やクリーニング体験を行いました。



▲ICTで市内の小中学生との交流会を実施し、コロンビア市の紹介をしたり、英語でフルーツバスケットをしたりし、地域の児童生徒と触れ合いました。

○ショーン・ベイティー先生と学生訪問団来市

受入期間：6月16日（月）

コロンビア市で日本語教師を務めるショーン・ベイティー先生と日本語を学ぶ学生10名が来市し、市長表敬のほか、明光小学校を訪問し児童と交流しました。



▲市長表敬では日本語で自己紹介する生徒もいました。

◀明光小学校では、地域の伝統工芸「檜（ひのき）細工」のストラップを児童と作成し、白山市の文化に触れました。

親善友好都市グリーティングカード交換事業

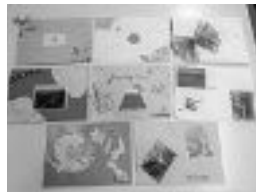
親善友好都市交流の一環として、コロンビア市（アメリカ）、ペンリス市（オーストラリア）、溧陽市（中国）、ラウンハイム市（ドイツ）、ボストン町（イギリス）の5都市の小学生と本市の小学生が手作りのカードを交換する事業です。今年は松南小学校の5・6年生が参加し、海外の友だちに向けて自分の好きなものを紹介したり、「あなたの好きな教科は何ですか?」、「いつか日本へ来てください」などのメッセージを英語で書きました。作成したカードは各都市に送られ、冬に生徒一人一人に返事が届く予定です。



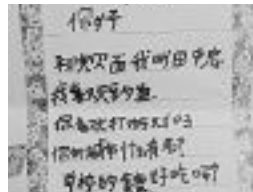
▲児童へ白山市の海外親善友好都市について紹介している様子。各都市の観光名所やおいしいそうな食べ物に興味津々でした！



▲ALT（外国語指導助手）やCIR（国際交流員）に聞きながら、英語のメッセージを真剣に書く児童たち



▲児童が作成したカード。折り紙を折ったりちぎったり、富士山や白山、お寿司や桜など、日本らしいものを描いてデコレーションしました。中国語でのメッセージに挑戦する児童も！返事のカードが届くのが今から楽しみです。



第38回ジャパネット白山市プログラム

8月21日（木）～24日（日）

毎年恒例のジャパネットが開催され、今年は12の地域から18名の留学生が本市を訪れ、市内16家庭でホームステイをしました。

22日の白山市プログラムでは、白山ろく民俗資料館で伝統的な染物「オバル染め」に挑戦したり、白山比咩神社や獅子吼高原で白山市の歴史や自然の魅力に触れたりしました。夕方は留学生とホストファミリーが一堂に会する交流パーティーが開催され、留学生による歌の披露や和太鼓チーム「サスケ」の演奏が会場を盛り上げました。2時間では時間が足りないくらい話がつきず、とても盛り上がった夜となりました！

▶白山ろく民俗資料館では、館長さんから白峰の歴史などについてお話いただきました。



◀交流パーティーで民族衣装を披露する留学生たち。ベトナム、モンゴル、インドネシアなど色とりどりの衣装で会場も華やかでした。



▲お別れの朝は全員で記念撮影。短い期間でしたが、大切な夏の思い出になりました。

H.I.A. からのお知らせ

はくさん国際交流まつり2025開催

今年も国際交流まつりで、異文化に触れながら、楽しく交流しましょう。【参加自由・入場無料】

日 時：10月19日(日) 10:00~15:00

会 場：松任文化会館ピーノ2階~4階、屋外テント

内 容：外国人と交流ブース、多言語でおしゃべり交流~わいわいカフェ~、民族衣装体験、青少年ホームステイ体験発表、ステージショー、世界の雑貨・食べ物コーナー等

【まつり協賛】松任児童館・松任図書館・国際交流サロン
3館合同 ハロウィンデー同時開催

★当日、国際交流まつりをお手伝いするサポーター(ボランティア)を募集しています。



参・加・者・募・集

●バドミントン交流

外国人も日本人もいっしょにチーム戦で楽しもう。

日 時：11月16日(日) 13:30~15:30

会 場：松任コミュニティセンター軽体育室

定 員：どなたでも30名(申込順)

●英語でクリスマス

ALTの先生たちとクリスマスをテーマにゲームやスポーツ、クラフトをして遊びましょう。

日 時：12月6日(土)

会 場：松任コミュニティセンター内

詳細は、市広報やサロンLINEでお知らせします。

●世界を学ぼう! 多文化カフェ

「東アジアのお正月」(簡単なクッキングと交流)

日 時：令和8年2月1日(日)

講 師：孫 海英さん、奥村チュックさん

「韓国編」(言葉と文化の紹介)

日 時：令和8年3月1日(日)

講 師：ソ ジュンホさん

会場はともに、国際交流サロン研修室



日本語指導者人材登録にご協力を

サロンでの日本語学習者の増加や当協会に対して市内事業所や関係機関から日本語指導者の派遣依頼が、増えており、協会では広く日本語指導者を募り、人材登録を行っています。

過去に当協会等での養成講座を修了した方、あるいは、日本語教師の資格等を有する方は、当協会の日本語指導者人材登録にご協力をお願いします。



ホームステイサポーター募集中

NPO法人や大学機関との連携により、当協会へのホームステイの協力依頼が増えています。主にアジア圏の高校生や大学生を受け入れるホスト家庭(ホームステイサポーター)を随時、募集しています。

ホームステイは、異国の学生を受け入れて、ご自宅で国際交流を体験できる絶好の機会です。ホームステイは2泊程度です。ご協力をお願いします。

サロン de 展覧会 「中国安徽省水墨画の世界」(入場無料)

中国出身のコミュニティリーダーの牛小婧さんの父親で中国安徽省在住の牛和龍氏による水墨画の作品をサロンで10月末まで展示しています。牛氏は、安徽省美術作家協会会員で故郷の黄山(ユネスコ世界ジオパーク)やその周辺の村々の四季を描いています。

ぜひ、ご来館ください。(写真 は展示作品)



募集の申込み・問い合わせ

国際交流サロン Tel 076-274-3371

E-mail misalon@asagaotv.ne.jp まで

＼ 詳細はサロンの公式LINEでお知らせします! ／



【LINE公式アカウント登録方法】

①右の二次元バーコードを読み取り、「追加」ボタンを押してください。



②「友だち追加」の「ID検索」より、@805wfnndyと入力してください。



【メール会員登録方法】

サロンメールアドレス misalon@asagaotv.ne.jpへ、ご住所、お名前、明記と「E-mail 登録希望」と書いて、送信ください。

編集後記

今年も夏に姉妹都市交流が活発に行われました。瑞々しい感性を持つ10代の若者たちのホームステイ経験は、生涯の宝物となることでしょう。一方、白山市で8年間の就労を終えたベトナム出身の青年にインタビューをしました。爽やかな笑顔に、頑張り抜いた達成感があふれていて、寂しいながらも清々しいお別れとなりました。母国でもご活躍を。(U)

発行 ■白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光文化スポーツ部都市交流・多文化共生課
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp
白山市国際交流サロン
TEL・FAX076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp